

おに丸号の乗り方

コミュニティバスは、路線によって運行する曜日が決まっています。また、バスの種類によって乗り降りの仕方が変わります。

TMさくら野の本石町側「まちなかターミナル」と北上駅西口の停留所「北上駅前」、北上済生会病院の西側にある停留所「北上済生会病院」の3停留所には、全ての路線が停車します。

【相去線・鬼柳線・立花岩崎線・稲瀬線・口内線】

1 停留所で待つ乗る



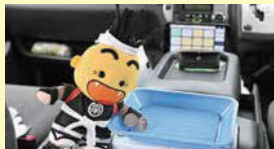
バスが来たら乗り込みます。停留所の位置に関わらず好きな場所で乗り降りできる「乗車フリー区間」で乗る場合は、バスが見えたら手を挙げて合図します。

2 行き先を伝える



乗り込んだら運転手さんに降りたい場所を伝えます。

3 料金を支払う



料金を支払って席に着きます。

【飯豊黒岩線・二子更木線】

路線バスと同じように乗る時に整理券を取り、降車ボタンで知らせ、降りる時に運賃箱へ支払います。

旅行気分に乗ってみる 広がるおに丸号の活用

おに丸号で旅に出よう

おに丸号は現在、7路線が運行しており、通勤、通学、通院、買い物など、さまざまな目的で地域の皆さんに利用されています。既存の路線バスがカバーできない地域を走り、市民生活に密着した重要な役割を担っているのです。

おに丸号の利用目的で多くを占めているのは、通院と買い物です（令和3年度調査）。生活するのに必要な市民の足として利用されることが多いおに丸号ですが、レジャーとして利用することもできます。例えば、地域の景観資産を

訪ねる小旅行として利用してみるのは一つ。観光マップではなかなか紹介されることのない、地元の色が感じられる場所に行ってみましょう。

地域の宝・きたかみ景観資産
きたかみ景観資産は、地域の景観資源を貴重な資産として次世代へ残していくことを目指し、市が認定しているものです。認定件数は119件（令和6年9月現在）。地域の皆さんの手によって清掃や整備が行われ、大切にされている場所です。きたかみ景観資産を訪ねることは、景観を楽しむだけでなく、その地域の活動や歴史を知る旅にもなります。



きたかみ景観資産

おに丸号で訪ねよう

きたかみ景観資産

乗って歩いて楽しむ小旅行
おに丸号は平日限定、本数も限られますが、その分滞在時間をたっぷり取ることができ、十分に散策できます。

更木地区には、九つのきたかみ景観資産があります。このうち、更木しらゆり公園は二子更木線の大竹停留所から徒歩6分程度。さらきの里ふれあいセンター敷地内「更木停留所」で降りれば、歩く時間は18分程度に伸びますが、産直の食堂で昼食や休憩を取ることが出来ます。

時間と体力に余裕があれば、他のきたかみ景観資産に

も行ってみましょう。更木停留所から黒岩地区方面へ約15分歩くと、花岩山永昌寺を訪ねることが出来ます。

このほかにもさまざまなプランが立てられます。きたかみ景観資産と時刻表を調べてみましょう。

運行状況がまるわかり

おに丸号の全路線が停車する停留所「まちなかターミナル」「北上駅前」「北上済生会病院」に、発車時刻や行き先を確認できるモニターを設置しています。

リアルタイムの情報はスマートフォンで利用できる「バス予報」が便利です。バスの現在位置や遅れの情報を確認することが出来ます。



バス予報



市のホームページ

おに丸号で挑戦！地域の景観資産を訪ねる旅

ショートトリップに出かけよう

市民の生活を支えているコミュニティバス「おに丸号」。試験運行から始まり、平成16年の本格運行から20年、運行ルートなど改善を重ねながら走っています。移動手段が限られた人に多く利用されていますが、おに丸号は誰でも利用できる公共交通手段。これからの過ごしやすい行楽シーズンはおに丸号に乗り込んで、市内の小旅行に出かけてみませんか。

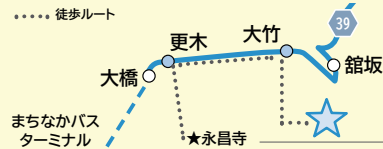
問い合わせ

【おに丸号に関すること】都市再生推進課 ☎0197-72-8312 【きたかみ景観資産に関すること】都市計画課 ☎0197-72-8276



おでかけプラン

..... 徒歩ルート



永昌寺(きたかみ景観資産No98)までは片道15分程度です。

二子更木線

火・金 運行

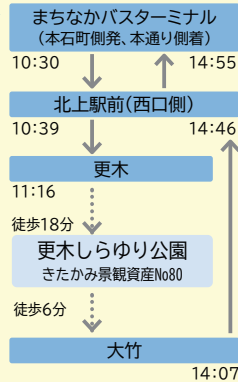
公園の高台に東屋が整備され、地域を一望することができます。春はサクラ、7月中旬から下旬にかけてユリの群生を楽しむことができます。



更木停留所は産直の敷地内にあります。食堂があるので、先に昼食をとるか持参しましょう。

バス料金 片道200円
滞在時間 約3時間
過ごし方 時間がたっぷりあるので、体力に自信のある人は更木停留所を拠点に、他のきたかみ景観資産も巡ってみましょう。

行ってみよう!



行ってみよう!



滝の音が心地よく、水車小屋が風情を感じさせます。6月下旬ごろからは、アジサイの群生も楽しめます。

バス料金 片道200円
滞在時間 約3時間
過ごし方 滝の音を聞きながら、ゆったりと。北上川と奥羽山脈の眺めも飽きません。現地まで下りの坂道あり。



停留所前にある、くろいわ産地直売所。食堂で昼食が取れます。産直を巡りスタンプを集めて景品が当たる、きたかみ産直スタンプラリーを開催中(10月18日(金)まで)。

飯豊黒岩線

月・木 運行



江戸時代、不毛の地であった和賀地方の開拓者の偉業を称えて建立された神社。境内は市保存樹木のケヤキなどの木々に包まれ、すがすがしさを感じます。



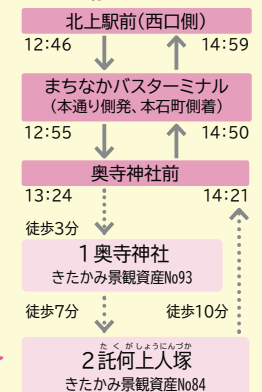
移動の途中に推定樹齢300年の市保存樹木、カツラの木があります。

..... 徒歩ルート

バス料金 片道200円
滞在時間 約1時間
過ごし方 少し駆け足で2カ所を巡ります。由来が書かれた看板はじっくり読みましょう。



行ってみよう!



時宗総本山遊行寺の託何上人がこの地で病没したといわれており、毎年命日の8月20日には供養のために地域で盆踊りを行っています。

行ってみよう!



竪穴式住居など縄文文化の面影を残した、解放感あふれる広場。小高い丘からは田園風景や奥羽山脈が一望できます。



縄文館では、縄文遺跡をより詳しく学ぶことができます。不定休館日あり(☎0197-65-5897)。

バス料金 片道200円
滞在時間 約3時間
過ごし方 現地まで長い坂道があり健脚向き。広いエリアで遺跡を見学したり景色を眺めたり、お弁当を広げてのんびりと。

稲瀬線

月・水・金 運行



バス料金 片道200円
滞在時間 約2時間
過ごし方 参拝後、鳥居向かって左の階段を降りると遊歩道に出るので、すず治いを散策できます。江釣子図書館が近いので、時間まで読書もできます。

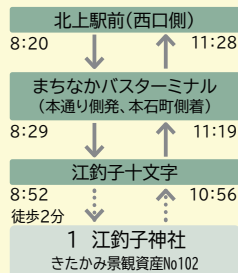


旧江釣子村の村社として地域住民から親しまれています。

立花岩崎線

月・水・木 運行

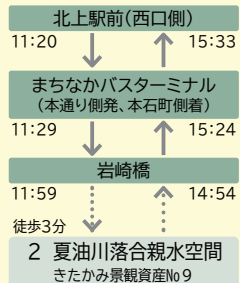
行ってみよう!



江釣子神社のすず(湧き水)は階段を降りてすぐにあります。



行ってみよう!



夏油川と和賀川の合流点を望む広々とした親水空間です。秋にはサケの遡上を見ることができるかも?

★岩崎城址本丸跡
 きたかみ景観資産No86



高台に残る岩崎城址本丸跡からは市内を眺めることができます。少しきつめの坂を登っていきます。

バス料金 片道200円
滞在時間 約3時間

過ごし方 夏油川の流れをゆっくり眺めて過ごせます(東屋など休憩スペースなし)。川の向かい側にカフェ、一つ隣の停留所「深山」まで歩けば、付近に飲食店、産直、コンビニがあります。体力に自信のある人は、岩崎城址まで歩いてみましょう(岩崎橋から約20分)。帰りは岩崎地区交流センターから乗車できます。



古くから村社として地域の文化と歴史の拠り所となっており、住民の交流の場として大切に守られています。

..... 徒歩ルート



まちなかバスターミナル

バス料金 片道200円
滞在時間 約4時間30分
過ごし方 2カ所を巡ります。浮牛城址裏側の産直の食堂で休憩できます。

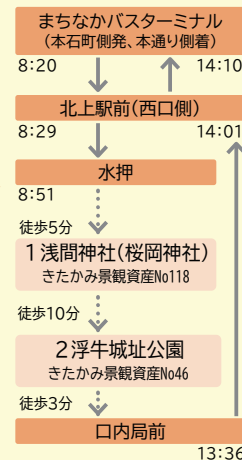


伊達領最北の要害だった浮牛城。公園として整備され、町のシンボルになっています。

口内線

火・水・金 運行

行ってみよう!



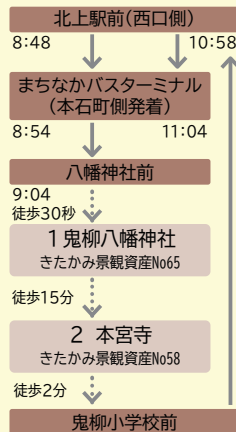
鬼柳線

火・木 運行

バス料金 片道200円
滞在時間 約1時間30分

過ごし方 少し駆け足で2カ所を巡ります。説明看板はじっくり読んで。途中でコンビニやスーパーあり。

行ってみよう!



1 八幡神社境内には樹齢600年のイチヨウの古木が立ち、整然としています。社殿の屋根に記されている向鶴(盛岡南部家の家紋)にも注目です。

2 本宮寺は、和賀、稗貫、紫波の観音札所のうち、33番目で最後の札所とされています。